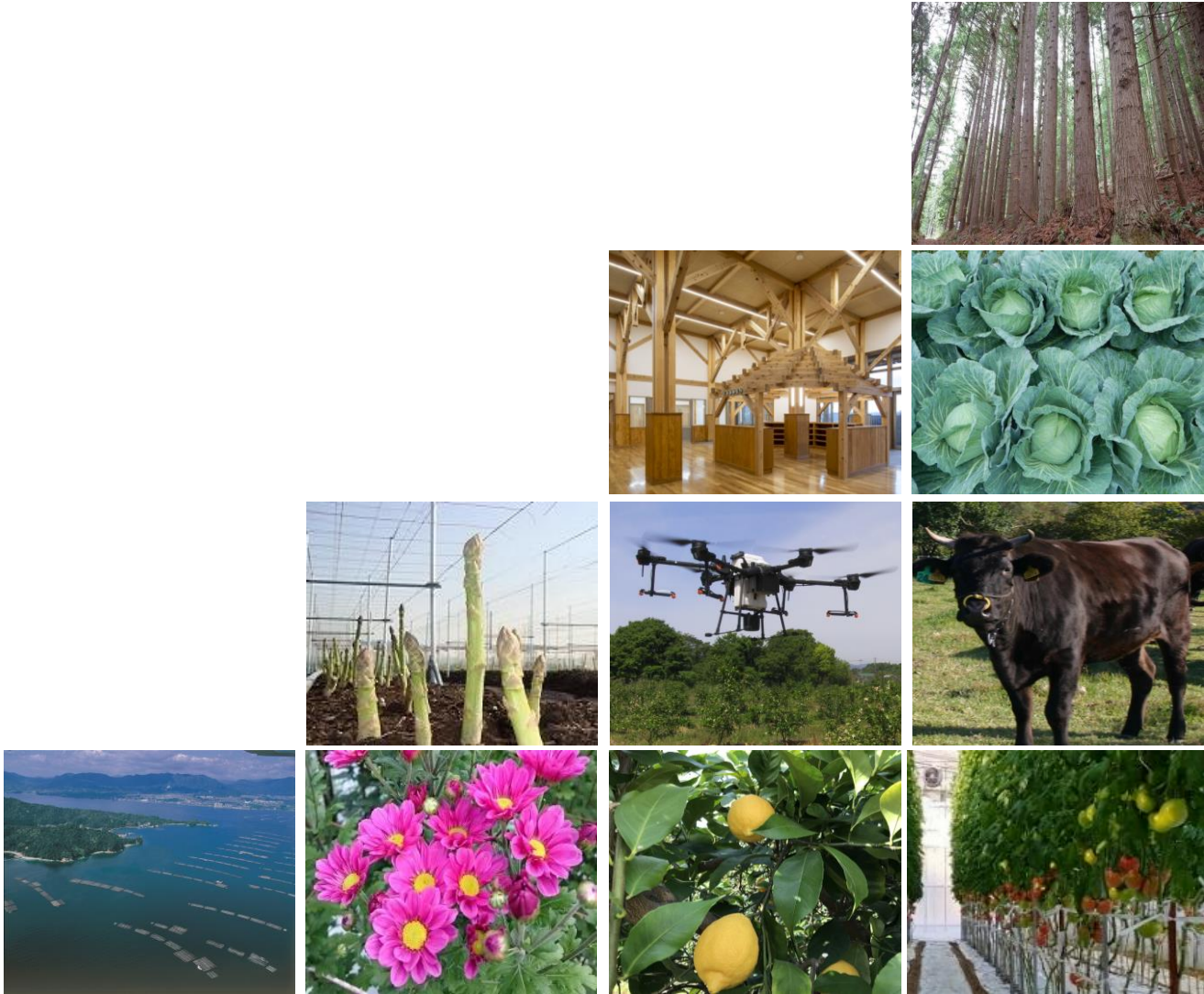


広島県の農林水産業



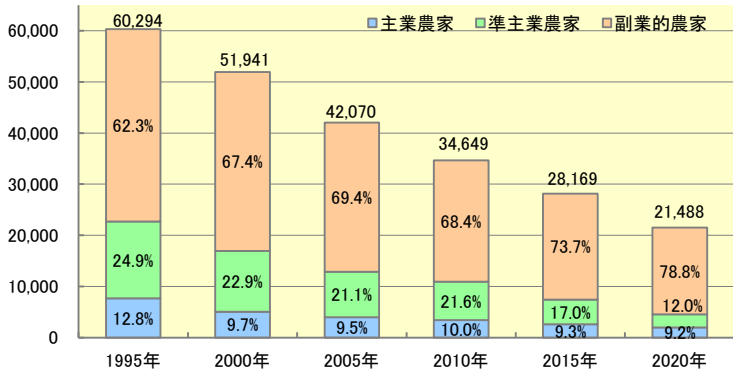
令和3(2021)年4月



農業

1 農家

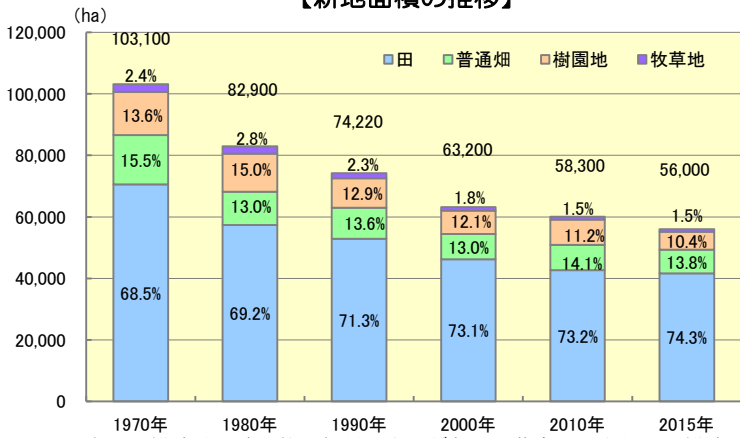
【主副業別販売農家数の推移】



本県の販売農家は、副業的農家が約7割を占めています。
注：1995年から2015年は販売農家数、2020年は農業経営体数のうち個人経営体数の値。

2 耕地

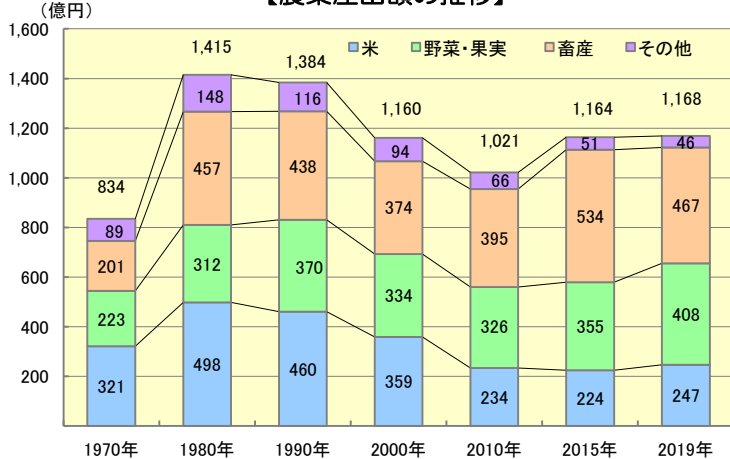
【耕地面積の推移】



本県の耕地は、地形的に急斜面水田が多く、農家1戸当たりの耕地面積は99aと低くなっています。

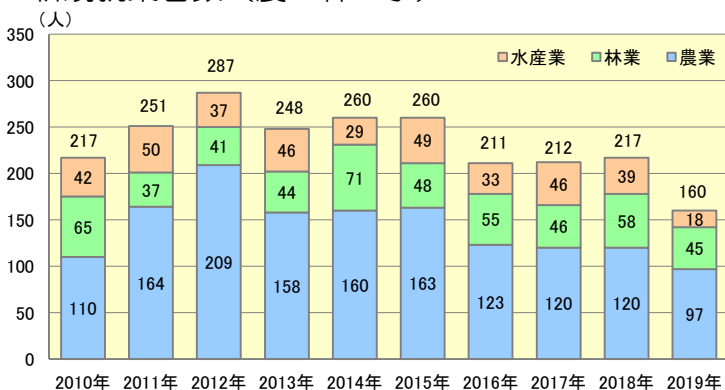
3 農業生産

【農業産出額の推移】



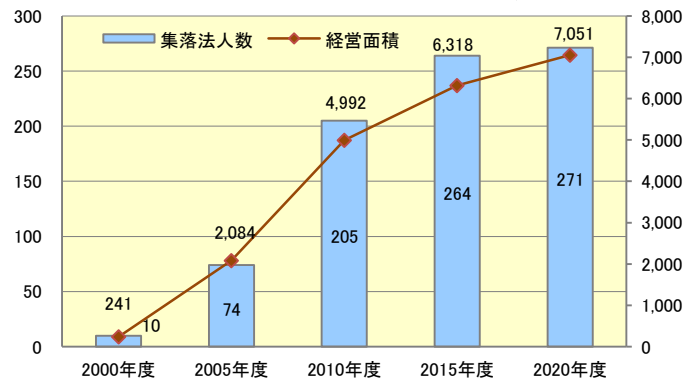
2019年の農業産出額は1,168億円で、そのうち、畜産の占める割合が約4割となっています。

4 新規就業者数（農・林・水）



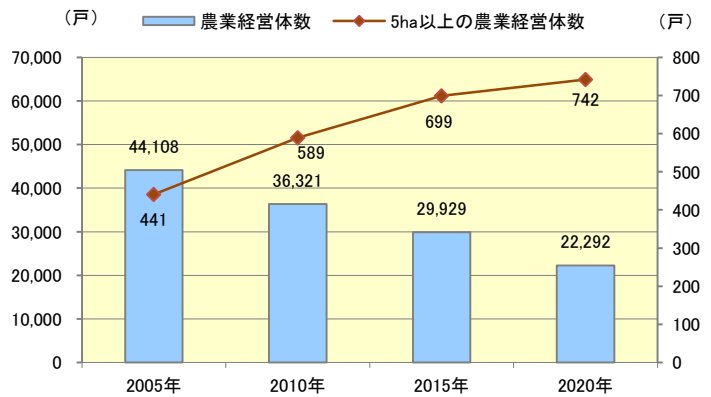
5 取組の成果

【集落法人数と経営面積の推移】



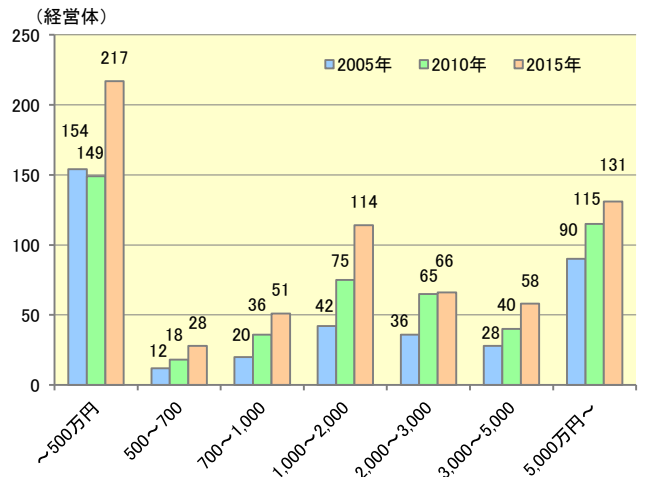
2000年度から2020年度にかけて、集落内の農地を集積した法人経営が増加し、2021年3月末現在の集落法人件数は、271法人となっています。

【農業経営体数と経営耕地面積5ha以上の経営体数】



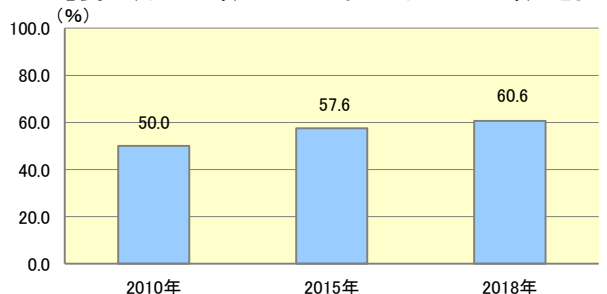
農業経営体が減少する中、5ha以上の耕地を経営する割合は増加し、着実に規模の拡大が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



法人化する農業経営体は、数、売上高ともに増加しています。

【農産物生産額に占める担い手の生産額の割合】



地域の核となる経営力の高い担い手が、生産の相当部分を担う構造を目指しています。

注：農産物生産額は、農業産出額のうち、畜産を除く産出額。

農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。（年の記載がない数値については、2019年値。）

畜産

産出額 467億円（全国17位）

生産量

牛肉 8,168t
豚肉 4,753t
生乳 48,270t
鶏卵 135,443t **全国5位**



県内飼養戸数及び飼養頭羽数（乳用牛、肉用牛は2020年2月時点、豚、採卵鶏、ブロイラーは2019年2月時点）

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	135	8,680	64.3
肉用牛	516	24,900	48.3
豚	25	110,800	4,432
採卵鶏	49	9,356,000	190,939
ブロイラー	9	765,000	85,000

《農業産出額の上位5品目》

1位	米	247 億円
2位	鶏卵	215 億円
3位	豚	89 億円
4位	肉用牛	71 億円
5位	生乳	54 億円

米

産出額 247億円（全国24位）

生産量 113,300 t

【生産量の多い品種】

コシヒカリ 23,016t
あきさかり 10,229t
あきろまん 4,077t



※農産物検査ベース

野菜

産出額 236億円（全国31位）

生産量 33,060t（県重点品目の計）（2018年）

わけぎ（2018年）
生産量 439t
全国1位



秋植えばれいしょ
生産量 1,840t
全国3位

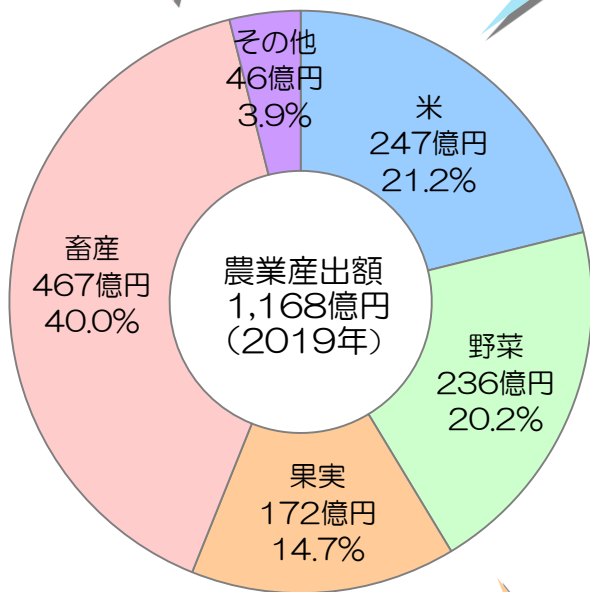


【生産量の多い野菜】

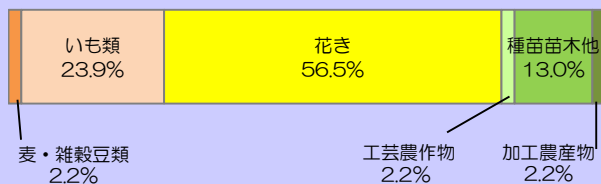
だいこん 11,100t
キャベツ 10,300t
トマト 9,880t

【産出額の高い野菜】

トマト 36億円
ねぎ 36億円
ほうれんそう 20億円



その他 産出額 46億円



花き

産出額 26億円（全国38位）

出荷量 切り花類 29,900千本

花壇用苗木の類 12,900千鉢

【出荷量の多い花き】

きく 15,200千本
パンジー 4,100千鉢

果実

産出額 172億円（全国14位）

生産量 10,368 t（県重点品目の計）（2018年）

みかん 28,000 t
全国7位



レモン（2018年） 3,570t
全国1位



ネーブルオレンジ（2018年） 1,848t
全国2位



【生産量の多い果実】

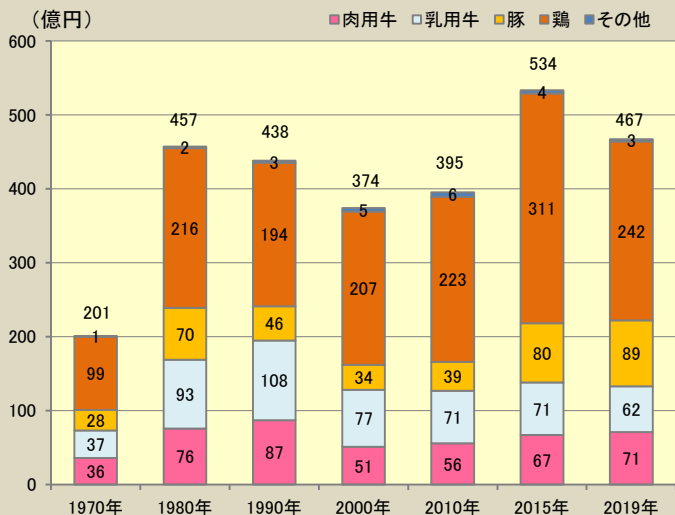
みかん 28,000t
はっさく（2018年） 4,777t
レモン（2018年） 3,570t

【産出額の高い果実】

みかん 51億円
ぶどう 30億円
レモン 23億円

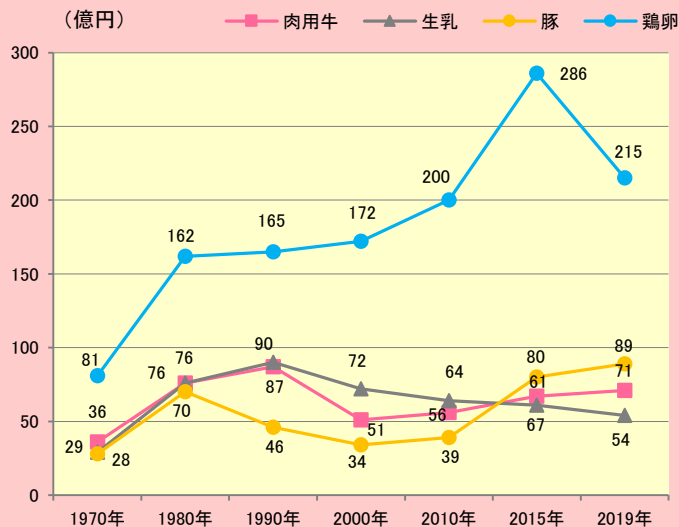
畜産業

1 農業産出額の推移（畜産部門）



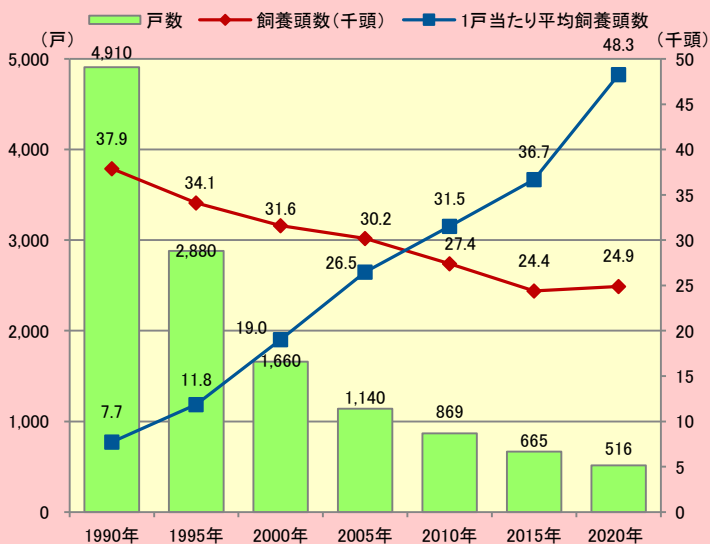
農業産出額上位10品目のうち、2019年は4品目が畜産の品目となっています。乳用牛は生乳、鶏は鶏卵が、それぞれ約9割を占めています。

2 畜産品目別の農業産出額の推移



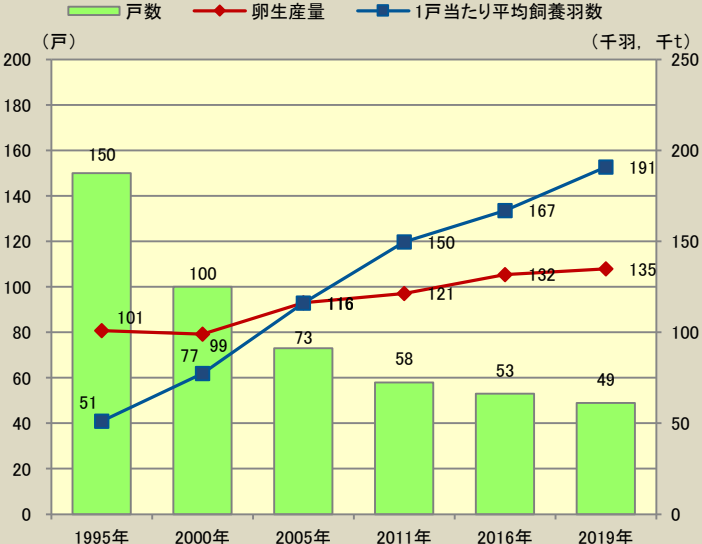
2019年の鶏卵の産出額は、茨城県、千葉県、鹿児島県、岡山県に続き、全国第5位です。

3 肉用牛飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

4 採卵鶏飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数及び卵の生産量は増加しています。

広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時(年)	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
米	2019	22,700	113,300	247	
麦類	〃	303	703	0	
大豆	〃	477	439	1	
野菜	トマト	2019	185	9,880	36
	ねぎ	〃	424	7,710	36
	ほうれんそう	〃	389	4,590	20
	アスパラガス	〃	113	1,020	11
	キャベツ	〃	418	10,300	5
	わけぎ	2018	33	439	2
	きく	2019	60	15,200	8

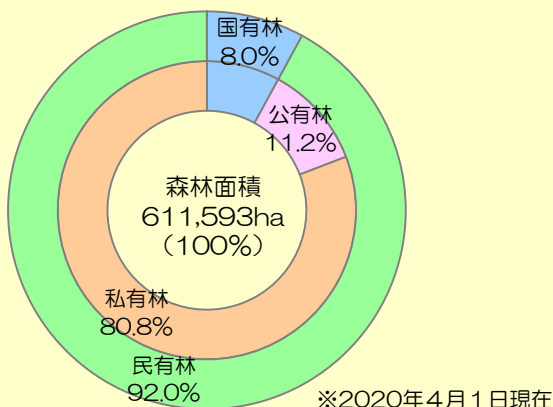
品目	調査時(年)	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
果樹	レモン	2019	275	6,565	23
	いしじ	〃	274	3,424	7
	はるか	〃	37	825	2
	ぶどう	〃	279	2,870	30
	いちじく	〃	58	692	5
畜産	鶏卵	2019	-	135,443	215
	生乳	〃	-	48,270	54
	肉用牛	〃	-	8,168	71
	豚肉	〃	-	4,753	89

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、きくの産出額、ぶどう以外の果樹の作付面積、生産量及び産出額は県調べ。

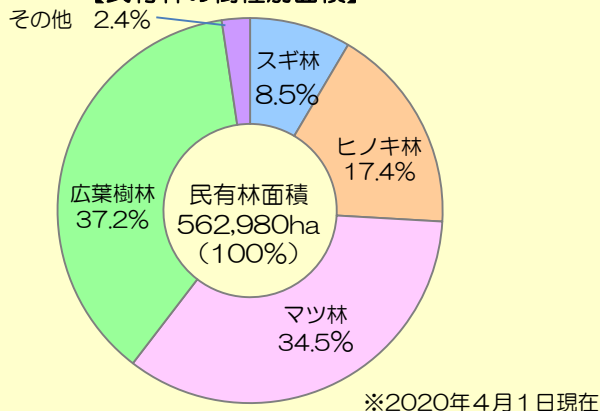
1 森林資源

【所有形態別構成比】



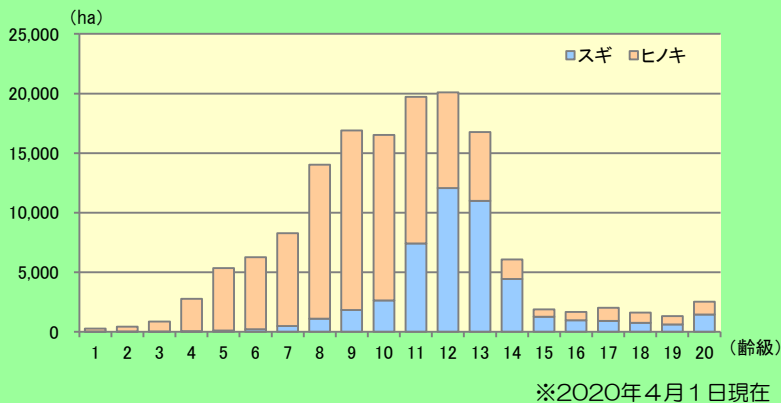
本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

【民有林の樹種別面積】



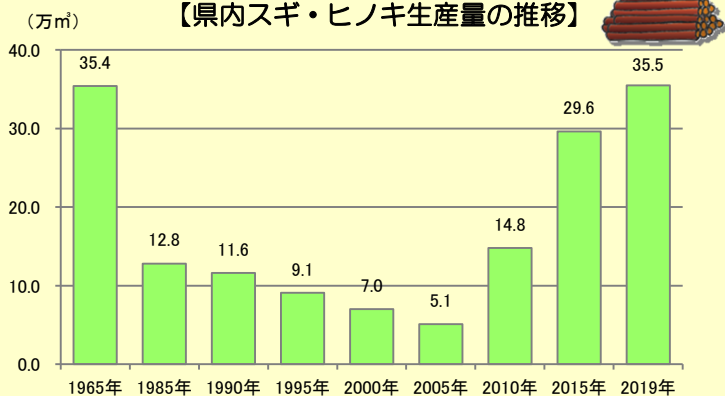
本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心に天然マツ林が広く分布しています。

2 人工林の齢級構成 (齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)

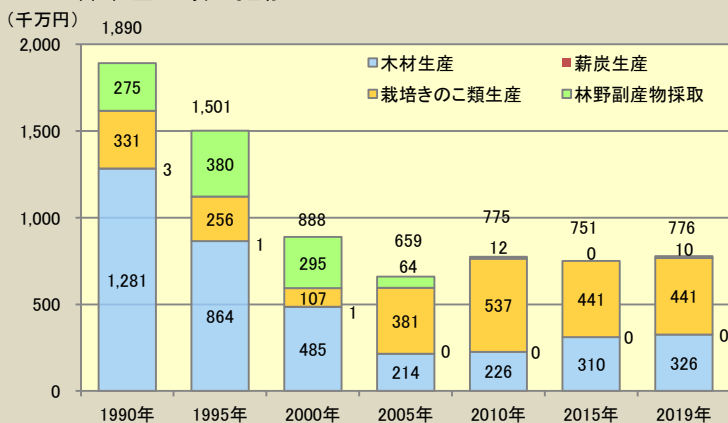


3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



4 林業産出額の推移



5 県民参加の森づくり



住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行われています。

《ひろしまの森づくり事業(2007~2019)》
 人工林の間伐 12,618ha
 ボランティア活動支援 256,797人



6 森林の保全



治山施設

本県の山地災害危険地区は、24,520地区であり、民有林の36%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。

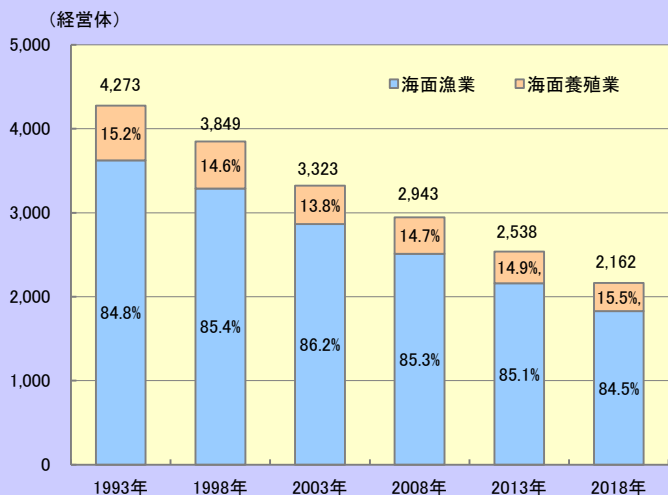


間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれてしまいます。
 県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

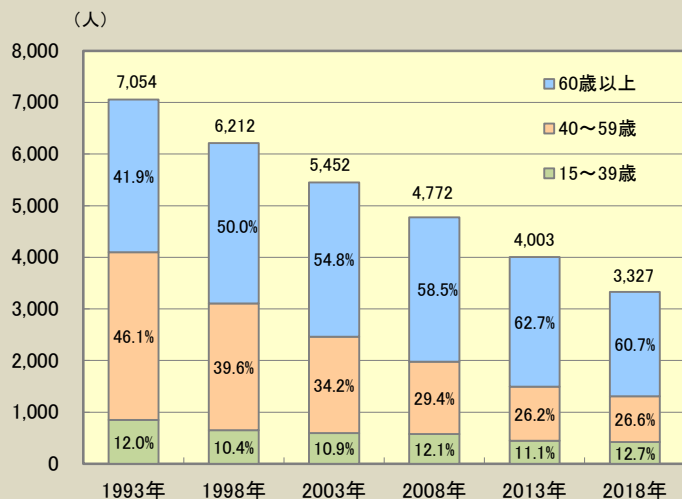
水産業

1 漁業経営体



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2018年で、個人96%、団体4%となっています。

2 漁業従事者

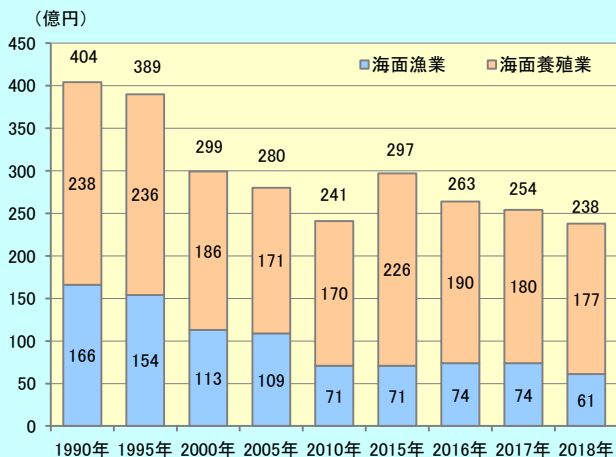


本県の漁業従事者は、年々減少傾向にあります。

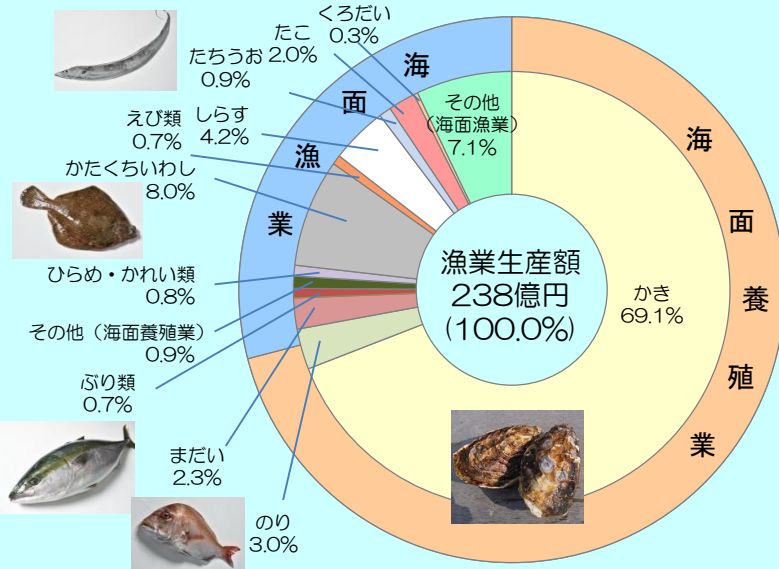
3 漁業生産

本県の漁業生産額は、かきが約7割を占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われています。

【漁業産出額の推移】



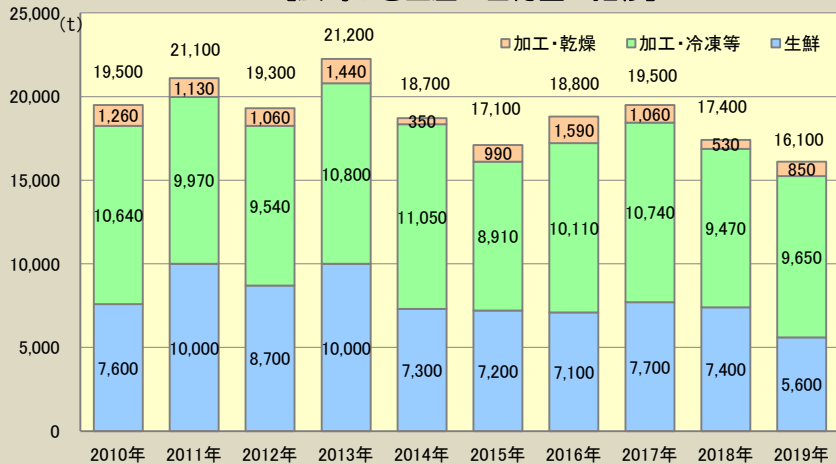
【漁業産出額の魚類別構成比(2018年)】



※まだい及びぶり類は海面漁業+海面養殖業の生産額合計

4 かきの生産量

【広島かき生産・出荷量の推移】



2019年漁期の総生産量は、16,100 t(生鮮向け5,600 t 加工向け9,650 t)で全国1位です。全国シェアの6割以上を占め、品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。

かき小町
(写真:右)



夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

2025広島県農林水産業アクションプログラム

■ 基本理念：『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定

■ 策定の背景

平成30年3月に「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を策定し、「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指した取組を進めてきました。今年度で計画期間が終了することから、この間の取組の成果と課題を検証するとともに、社会情勢及び本県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、県の次期総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の10年後の目指す姿を見据え、新たな実行計画を策定しました。

■ 計画の考え方

○このプログラムは、「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として位置付け、その目指す姿を実現するための具体的な取組等を定めるものです。

○分野ごとの10年後の目指す姿を実現するために、5年後の「目指す姿」と5年間の「取組の方向性」や「具体的行動計画」など、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を明確化します。

■ 計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度（5年間）

■ 施策体系



「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に掲げる農林水産業の主な目標値と達成状況

項目		2018年実績	目標	
			2025年	2030年
農業	農業生産額 ※畜産を除く	712億円	736億円	746億円
	農業生産額1千万円以上の経営体数	605経営体	655経営体	705経営体
	農業生産額1千万円以上の経営体生産額	234億円	275億円	335億円
畜産業	比婆牛を取り扱う高級飲食店の増加数	—	10店舗	30店舗
	広島和牛を肥育する企業経営体数	2経営体	5経営体	15経営体
	広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	1,800頭	2,730頭	4,850頭
林業	集約化された林業経営適地の面積	0ha	1.8万ha	4.0万ha
水産業	かき輸出量	1,500トン	2,000トン	2,500トン
	海面漁業生産額800万円以上の担い手数 ※いわし類を除く	50経営体	71経営体	84経営体
	海面漁業生産額800万円以上の担い手生産額 ※いわし類を除く	7億円	11億円	19億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
農業					
総農家数	2020	戸	45,361	1,747,414	16
個人経営体数	2020	経営体	21,488	1,037,423	21
主業経営体数	〃	〃	1,988	230,297	33
準主業経営体数	〃	〃	2,570	141,359	22
副業的経営体数	〃	〃	16,930	665,767	15
農家人口（販売農家）	2015	人	87,341	4,880,368	24
（うち女性比率）	〃	%	50.7	50.2	11
（うち65歳以上比率）	〃	〃	46.9	38.6	2
農業就業人口（販売農家）	2015	人	37,949	2,096,662	25
（うち女性比率）	〃	%	50.1	48.1	7
（うち65歳以上比率）	〃	〃	76.8	63.5	3
基幹的農業従事者（個人経営体）	2020	人	24,175	1,360,674	26
（うち女性比率）	〃	%	39.7	39.7	23
（うち65歳以上比率）	〃	〃	84.0	69.8	4
耕地面積	2020	ha	53,500	4,372,000	27
（田）	〃	〃	40,200	2,379,000	24
（畑）	〃	〃	13,300	1,993,000	30
（1経営体当たり経営耕地面積）	〃	〃	1.3	3.1	34
農作物作付延面積	2019	〃	40,400	4,019,000	32
耕地利用率	2019	%	74.7	91.4	46
荒廃農地面積	2019	ha	8,250	283,536	13
農業産出額	2019	億円	1,168	89,387	26
（米）	〃	〃	247	17,484	24
（野菜）	〃	〃	236	21,515	31
（果実）	〃	〃	172	8,399	14
（花き）	〃	〃	26	3,264	38
（畜産）	〃	〃	467	32,344	17
生産農業所得	2019	〃	363	33,403	30

資料：2020農林業センサス概数値ほか

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
林業					
森林面積	2020	ha	610,059	24,436,025	10
国有林	〃	〃	47,093	7,032,440	19
民有林	〃	〃	562,966	17,403,585	7
うち保安林	2015	〃	214,474	5,249,856	4
森林蓄積総数	2017	千m3	110,405	5,241,502	19
林家数	2015	戸	41,953	828,973	2
森林組合数	2017	数	15	621	14
森林組合員数	2017	人	73,551	1,511,674	3
林業産出額	2019	千万円	776	45,492	19
（木材生産）	〃	〃	326	22,940	21
木材（素材）生産量	2019	千m3	331	21,883	20
木材（素材）需要量	2019	〃	1,840	26,348	3
外材（素材）需要量	2019	〃	1,452	4,465	1
林野火災被害面積	2018	ha	23	938	27
松くい虫被害量	2018	千m3	11	352	9
水産業					
漁業経営体数	2018	経営体	2,162	79,067	15
海面漁業（延数）	〃	〃	1,829	65,117	14
海面養殖業（延数）	〃	〃	333	13,950	14
漁業就業者数	2018	人	3,327	151,701	19
漁業生産量	2018	t	123,338	4,364,327	11
海面漁業	〃	〃	15,660	3,359,456	29
海面養殖業	〃	〃	107,678	1,004,871	2
かき養殖	〃	〃	104,014	176,698	1
内水面漁業	〃	〃	17	26,957	29
内水面養殖業	〃	〃	69	29,849	27
漁業生産額	2018	億円	238	14,238	19
海面漁業	〃	〃	61	9,377	31
海面養殖業	〃	〃	177	4,861	12
かき養殖	〃	〃	164	334	1

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

【本県における森林の公益的機能の評価額】

（単位：億円/年）

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の下層植生や落葉枝が地表の侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部（平成14年）による推計値
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。